

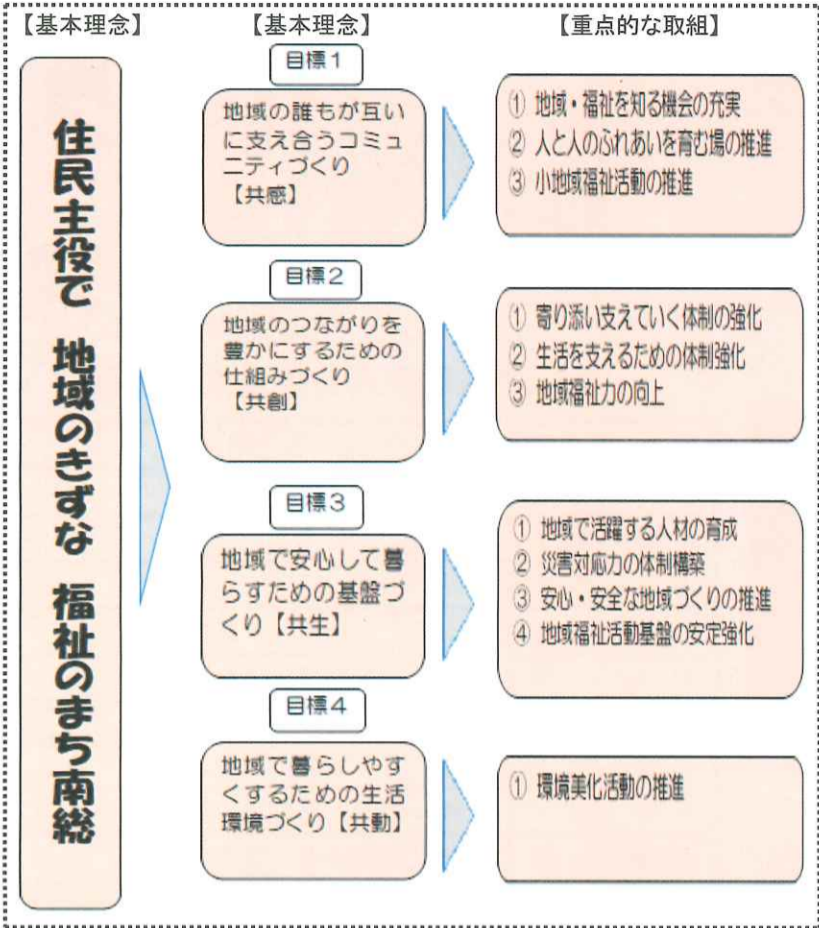
— 南総地区の人口 —
 人口 20,934人
 男 10,548人
 女 10,386人
 世帯数 10,157世帯
 令和4年11月1日現在

ふれあい

地域で守ろう『福祉のまち、南総』

編集 南総地区社協
 広報委員会
 発行責任者 地区社協会長
 児井敏雄
 事務局 南部エリア推進
 センター内
 電話 92-1481

図-1 行動計画体系図(案)



◆ 新行動計画と新たな取組み ◆

日頃、南総地区社会福祉協議会の活動に、ご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。

現在、南総地区行動計画を見直し、誰もが役割を持ちながら共に地域づくりを進めるという「地域共生社会」の実現を目指した第二次の南総地区行動計画の作成に向け、検討を行っています。

次期の計画での見直しのポイントも踏まえ、主な取り組みについて紹介いたします。

◎ 新たな行動計画

『第二次南総地区行動計画(二〇二三年～二〇二八年)』策定への取組み

南総地区の特性や課題に応じた、地域福祉活動を推進していくための道しるべとなる第二次行動計画を、来年度からの実行に向け策定中です。

・ ふれあいきいきサロン (高齢者対象)

南総公民館を会場に実施していた食事サービスについては、ここ数年コロナ禍のため食事の提供は控えたため、開催していません。また、小域福祉ネットワークが中心となつて二六会場で開催している茶話会については、一〇月末現在五五四名の方が元気に参加しています。

『のびのびキッズ(子育てサロン)』(子育て世帯対象)

子育て家庭支援員協議会南総支部の協力のもと、未就学児を対象に、リズム遊びや七夕飾りの作製等、年六回の活動を展開しています。

『ふれあいきいきサロンの場』

高齢者及び心身障がい者(児)並びに子育て家庭に対して、地域住民やボランティアの協力を得て「地域福祉コミュニティづくりを推進」するために実施しています。

見守り支援を通じた『相談支援事業』の充実

身近な困りごと相談である「来場型による相談支援」に加え、地域での日常生活における住民同士の見守り活動「向こう三軒両隣」の取り組み等を通じた掘り起こしによる「アウトリーチ型相談支援」体制の構築を目指します。

住民参加型による『日常生活支援事業』

公的サービスが行き届かない日常生活の困りごと(庭の草取り等)に対して、ボランティア等を派遣し地域のニーズに合わせた支援を行う取り組みで「地域に住む住民がそれぞれを支え合う」お互い様の活動です。

実地体験を始めた『子どもの居場所づくり事業』



既に活動を開始した地域もあり、今後は活動状況の把握と共に、地域のニーズに合わせた日常生活支援策について関係者との協議を進めます。

現在、市では「子ども第三の居場所」として、南総地区社協としては、これらの活動を進めるため他地区の子ども食堂の活動に理事を派遣し、運営方法や課題の把握等に努めています。

表彰おめでとうございます

市原市表彰

社会功労表彰

小池 茂夫さん
 中 孝壽さん
 牛久小学校区小域福祉ネットワーク役員等として多年にわたり地域福祉の推進に寄与されました

朝生 津江子さん
 渡部 メイ子さん
 子育て家庭支援員として多年にわたり児童福祉事業に寄与されました

常住 康之さん
 市原市青少年相談員として多年にわたり青少年の健全育成に寄与されました



ご協力ありがとうございました

南総地区社会福祉協議会では「賛助会員・会費制度」を実施しております。この会費は南総地区社会福祉協議会独自の財源として、地域のニーズ、実情に則した活動に活用させていただきます。

また会費の一部は「南総地区地域福祉基金」にも組み入れ今後必要となり得る新たな福祉サービスや災害(防災)対策にも活用させていただきます。

あわせて、今年度も新型コロナウイルスの影響で福祉バザーが中止となり、各町会を通じて「歳末助けあい募金」への協力をお願いいたしました。

これは、新しい年を迎える時期に支援を必要とする方が安心して暮らすことができる地域社会づくりのための取り組みを推進することを目的としており、南総地区でも下記のようなご寄付を頂戴いたしました。

【令和4年度南総地区歳末助けあい募金実績報告】(11月11日現在)

514,950円

【令和4年度南総地区賛助会費実績報告】(11月29日現在)

888,900円(団体50件、個人458件)

トピックス

寺谷小学校区小域福祉ネットワーク

安心訪問員座談会

十一月十三日、なのはな館にて、寺谷小域福祉ネットワーク主催による《安心訪問員座談会》を開催しました。

寺谷地区では、「住みながら安心して暮らそう」というための重点活動として、訪問を希望する高齢者の自宅を安心訪問員が定期的に話しをしたら、悩みや不安などがあつたら相談に乗ったりしてあります。しかし、訪問を希望する人が多くはないという現状もあります。

この日参加した訪問員や民生委員などから、「安心訪問活動があるということは知っていても、具体的にどんなことをしているのか。」まだ理解されていないのではという課題が明らかになりました。

そこで、希望する人を待つだけでなく、町会と連携を図りながら、訪問員側からも一人住まいの方にアプローチをしていくことが必要ではないかという意見が出ました。また、南総地区で取り組ん



グループ発表の様子

でいる『向こう三軒両隣』の取組みや買い物・草刈りといった日常生活の支援などを通して、地域全体で互いに見守り合う形を作っていくならどうかという提案もありました。

そして、最後に地域包括支援センター「トータス」木村センター長の「地域共生社会を作る上で安心訪問の活動が極めて大切では。」との総括で、この会を終えました。

(推進委員)

南総地区民生委員児童委員名簿

氏名	担当地区
渡部 公明	米原、上畑、桜ヶ丘団地
鳥海 絹子	根古屋、小草畑
常住 利光	宿滝、平沢
河津 正雄	山小川、上田尾、下田尾
深山 等	般若寺、久保代、池和田
鈴木 正夫	矢田、下矢田
中村 智子	鶴城(第1~第3)、大手
杉田 浩一	日枝、中部、亀井橋、南町、共栄
菅野 衛	鶴舞大蔵屋団地、富士台
麻生 テル	鶴舞大蔵屋団地
鶴岡 和之	水沢、奥野、市場
星野 かづ子	堀越、島田、宿
宇佐美 輝芳	真ヶ谷、黄金台、石川、古宿、原田
鶴岡 清次	安久谷、米沢、江子田、送り神
平野 友恵	岩、中、藪(第1・第2)
鈴木 良和	牛久ニュータウン、牛久団地
長島 喜光	牛久第1
神尾 昌明	牛久第2、牛久東
鈴木 みち	牛久第3
田中 信廣	牛久第4、楓団地
高浦 幹夫	奉免、妙香、正美、奉免南
佐久間 操	西国吉(本区)、大蔵
古川 光子	皆吉団地、わかば台、学園台
白石 和美	皆吉、金沢、志保井
石田 壽一	佐是、佐是団地
鶴岡 富士夫	沢辺、根本、光ヶ丘、上原
田崎 信隆	新町、馬立さかえ、曲本、緑幸台、馬立グリーンタウン
永野 英世	上区第1・第2、下区、みどり台、鹿島台、さつき台、のぞみ
渡邊 里美	田村(1~16組)、新栄
高橋 久男	日の出、馬立新生、サンエー、田村(17~22組)、新田町会の一部
鈴木 俊明	光風台南、新田町会の一部
小澤 和幸	新田町会の一部
杉野 禎一	風戸、寺の下、七日市場、久保
塙 貞雄	開墾、双葉、中高根若葉、南ノ原、バードヒルズ
齋藤 富美枝	並塚、馬場台坂、上高根平成、高根台
黒澤 玲子	吉野台
大畑 廣志	西国吉台団地
森 由美子	ときわ台
御簾納 正一	南岩崎、枝、寺谷、栢橋、菅の谷台
小牧 芳子	小勝山団地(1~4区)
小野 寺 巖	小勝山団地(5~7区)
鶴岡 由桂	主任児童委員
河崎 順子	主任児童委員

戸田コミュニティセンター 地域の子どものための学力向上を目指して

地域の話題として、戸田コミュニティセンターの「学び塾」を紹介します。今年の広報いちはら四月号のSDGsコーナーで取り上げられたのでご存じの方も多いと思います。



熱心に勉強に取り組んでいます

「学び塾」は戸田コミュニティセンターが当初からスタートしており(最初は「英才塾」)、無料塾としての取り組みは話題を呼び、全国から多くの視察者が訪れたとのこと。

この「学び塾」は小学生は五年生、六年生、中学生では一年生から三年生までの五年生を対象とし、科目は小学生は国語と算数、中学生は英語と数学の二科目であり、週二日、月曜と木曜の午後六時二十分から八時まで、三十分三コマの授業を展開しています。定員は各学年とも諸般の事情で十名を目安としています。塾生は小学生は寺谷小、戸

民生委員児童委員の一斉改選 身近な相談相手として

私たち南総地区民生委員児童委員協議会は、この十二月から、引き続き民生委員児童委員並びに主任児童委員となった二十七人、そして、新しく委員となった十六人で、任期の三年間、職務を行います。

私たちは、住民の方々の「身近な相談相手」になりたいと思っておりますが、福祉サービスや行政等についての専門家ではありません。しかし、高齢者の方の自宅を訪問したり、地域での様々な方々との交流を通して気づいたことや皆様からの相談・依頼があったときに、解決に向けてできるだけ支援したり、専門的な機関につなげたりすることができま

民生委員は、『民生委員法』に基づき、厚生労働大臣から委嘱を受けた非常勤の地方公務員であり、ボランティアとして活動しています。守秘義務があり、皆様の個人情報

田小、光風台小など、中学生は双葉中、南総中などの地元生徒が殆どです。講師は、地域の教職経験者、指導に関心のある識者、大学生などの方々(時には高校生も)が一学年を一人か二人で担当しています。また、玄関での行き帰りの安否確認や授業中の見守りを戸田コミの役員一名で担当しています。講師の喜びは塾生の熱心な学習態度と、分かった時の笑顔だと聞いています。地域の子どもは地域で育てるといふ戸田コミの取り組みは、大いに期待できるものと思

(編集委員)



民生委員児童委員

なのはな館情報

◎体験、ストレッチ教室
なのはな館では、まだ健康増進施設に会員登録されていない六十歳以上の方を対象に、専門のインストラクターによるストレッチ教室の体験会を開催しています。少人数なので、気軽に質問できると好評

【開催日】
十一月(令和五年)二月
毎月 第三週 日・水・金
午後一時三十分~午後二時

編集後記

近所の家の庭に大きな柚子の木があります。実もたわわで凛として見事です。柚子の良い香りがしてくるようで、冬至の柚子湯が楽しみです。

今号では、福祉関係のことなどを記事にしましたが、嬉しいニュースがあります。市原市では今年も功労者表彰があり、南総地区では五人が選ばれました。その中に、「牛久小学校区小域福祉ネットワーク」の関係者が二人います。牛久地区では、平成十九年一月に市内で最初にネットワークを立ち上げ、活動を続けています。市社協主催のネットワーク連絡会議で事例発表をしたり、県内からの視察研修等

さて、一年は早いもので、もう年の瀬となりました。新型コロナウイルスや物価高が続く中、せわしなくなってきましたが健康に留意し、皆でよい年を迎えたいものです。

- 編集委員
- 河津 敏郎 (内田)
 - 伊藤 陽子 (寺谷)
 - 加藤 功 (牛久)
 - 大井 守 (鶴舞)
 - 金高 義幸 (平三)
 - 牧野 雅夫 (戸田)

(編集委員)